

品種特性一覧表（北海道）

科	種類	品種 ※品種名と商品名が異なる場合は、 品種名を（ ）書きで記載して あります。	ページ	播種量 (kg/10a)		施肥量の目安 ¹⁾ N : P : K (kg/10a)	減肥の 目安 N : K (kg/10a)	炭素率 (C/N 比)	播種期 (月・旬)		すき込み期 (月・旬)
イネ科	アウェナ ストリゴサ (エンバク野生種)	ヘイオーツ	9	10-15		5 : 5 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	4下～6中 7下～9上 3)		7上～8中 10中～下
	エンバク	スナイパー (PVP 5)	10	10		4-6 : 5-10 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	露地 二重/加温 ハウス	8下～9上 11月	10月 翌年3月
		とちゆたか	11	後作・休閒 間作	10-15 5-8	4-6 : 5-10 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	4下～6中 7下～8中		播種後2か月前後 出穂前後を目安
		スワン	10	15-20		4-6 : 5-10 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	7下～8中		10中～下
		ライムギ	R-007 (ウィーラー)	11	10-15		4-6 : 5-10 : 0-6	2-3 : 0-5	15-20	年内 越冬	8下～9上 9中～下
	スーダングラス	ねまへらそう (スーパーダン2)	12	5		6-10 : 6-10 : 0-10	0-4 : 0-8	20-30	露地 ハウス	6～7月 5～8月	8～9月 7～10月
	ソルガム	つちたろう (ジャンボ)	12	露地 ハウス	5	8-10 : 8-12 : 0-10 3-8 : 3-8 : 0-8	0 : 0-8 0-4 : 0-6	30-45 20-40	露地 ハウス	6～7月 5～8月	8～9月 7～10月
	パールミレット	ネマレット (ADR300)	8	露地 ハウス	3～4	6-10 : 6-10 : 0-10 3-8 : 3-8 : 0-8	0-4 : 0-8 0-4 : 0-6	15-30	6上～8上		7～10月 8上～10上
	トウモロコシ	SH9599	12	8,000粒/10a程度		8-12 : 12-16 : 0-12	0 : 0-10	30-35	5～6月		9～10月
	イネ科 マメ科	まめ助 とちゆたか 雷播セット	13	休閒 後作	8	4-8 : 6-8 : 0-8 3-6 : 6-8 : 0-6	0-4 : 0-6 2-4 : 0-5	20-30 15-25	5上～6中 7下～8下		7中～8中 10中～下
マメ科	ヘアリーベッチ	まめ助 (ナモイ)	13	5		2-5 : 5 : 0-5	3-5 : 0-4	10-15	5上～6中 7下～8中		7中～8中 10中～下
		藤えもん (マツサ)	14	4-5		2-5 : 5 : 0-5	3-5 : 0-4	10-15	5上～6中 7下～8中		7中～8中 10中～下
		寒太郎 (サバン)	14	5		2-5 : 5 : 0-5	3-5 : 0-4	10-15	5上～6中 9月		7中～8中 翌年4～7月
	クリムゾン クローバ	くれない	15	2-3		3-4 : 8-12 : 0-6	2-4 : 0-5	15-20	4下～6中 7下～8上		7～8月 10月
アカクローバ	メジウム	15	休閒 コムギ間作	2-3 3-4	2-4 : 8-12 : 0-5 0-2 : 0-5 : 0	5-6 : 0-4 2-4 : 0	11-15 10-13	5～6月 4月(出来るだけ早く)		9～10月 9～10月	
アブラ ナ科	カラシナ	辛神 (PVP 4) 5)	16	休閒 後作	1.0-1.5	8-10 : 5-10 : 0-7	1-3 : 0-6 2-4 : 0-6	15-20 12-20	露地 ハウス	5月 2～4月 8月 (ハウスも)	6下～7上 4～6月 9下～10月
	シロガラン	キカラシ (メテックス) 4)	17	休閒 後作	2-3	5-8 : 5-10 : 0-7	2-5 : 0-6 4-6 : 0-6	15-25 12-20	4下～6中 7下～8下		6下～7下 10月
	ムラサ キ科	ハゼリソウ	アンジェリア	17	2-3		5 : 5 : 0-5	0-4 : 0-4	15-25	5～6月	
ナス科	ソラナム ヘルウィアナム (トマト野生種)	ポテモン (PVP 5)	18	0.7-1.0		8-10 : 8-10 : 8-10	0-4 : 0-8	10-15	6中～7上 8上		播種後 60～80日を目安

◎:おススメ ○:適する 後作物の無印は普通とする。

特性	緑虫抑制			緑肥作物の効果					後作物			利用体系				
	キタネグサレ	キタネグサレ	キタネグサレ	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト	シヤガイモシスト
初期生育旺盛、細茎・多葉で多収。 キタネグサレセンチュウ対抗植物。 緑虫対策は15kg/10a、9月播きは20kg/10a。	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
エンバク「虫媒スワン」より早生のエンバク。 ハウス栽培後や春先の有機物補給に。 ハウスは残肥を利用。一重ハウスにて栽培する場合は8月下旬～9月上旬に播種。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
耐病・耐倒伏性に優れた直立性のエンバク。 園芸作物や早春の防風作物に適する。 ドリフトガードクロープとして利用できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
早生のエンバク。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
タマネギの後作利用に適する(保肥力の増加や土を柔らかくする)。 越冬させて早春の土壌浸食防止に適する。 ドリフトガードクロープとして利用できる。 越冬栽培でキタネグサレセンチュウを減らす。	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
キタネグサレセンチュウを減らす。 秋播きコムギ前の休閑利用に適する。栽培期間が長く、多収。 ドリフトガードクロープとして利用できる。	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
種子が小粒でスタンド形成が良好。 ドリフトガードクロープとして利用できる。 サツマイモネコブセンチュウ対抗植物。 クリーニングクロープは無施肥で栽培する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
キタネグサレセンチュウ、サツマイモネコブセンチュウを減らす。 土壌を選ばず良く生育し、短期栽培でも収量を確保できる。	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
遊休農地の地力向上に利用可能。 休閑利用で粗大有機物確保に。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
直立性のヘアリーベッチ「まめ助」とエンバク「虫媒とちゆたか」との混播。 8月下旬播種でも利用可能なセット。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
夏播きで多収なマメ科緑肥作物。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。 コムギや早出し作物後に播種できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
耐湿性と低温伸長性に優れる。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。 越冬する場合もあるので、しっかりとすき込む。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
越冬性と耐湿性に優れる。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。 長期栽培で雑草抑制が期待できる。 播種期が遅れると越冬しない場合があるため注意。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ダイズシストセンチュウ対抗植物。 根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。 深紅の花が景観美化に適する(春播きのみ開花)。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。 ダイズシストセンチュウ対抗植物。 コムギ間作は適度に土壌水分があるうちに播種する。 ソバ間作の播種量は3kg/10a、施肥はソバに合わせる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
辛みの成分含量が高いアブラナ科緑肥作物。 着蕾～開花始の茎葉部の多い時期にできるだけ切断してすき込む。 ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可。 景観緑肥にはカラシナの方が良い。テンサイ根腐病、ホウレンソウ萎凋病、コムギ立枯病の 発病軽減効果が期待できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8月上旬までできるだけ播種を終える。 ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生育旺盛で多収。 テンサイの前作に適する(収量性を改善)。 鮮やかな黄色い花をつける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
春播きで生育旺盛、被覆が早く雑草対策となる。きれいな紫色の花が咲き、蜂花植物として も適する。花は8月まで楽しめる。前作で栽培すると長ネギの生育が良好(都府県で実証)。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ジャガイモシストセンチュウ対抗植物(春播きの方が密度低減効果が高い)。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

1) 北海道農政部 2014「北海道緑肥作物等栽培利用指針」を参考に作成。2) サツマイモネコブセンチュウの系統によっては抵抗性を示さないものがあります。3) 高温時の早播きは避けて下さい。4) アブラナ科野菜の根こが病発生圃場でのご使用は避けてください。5) 海外持出禁止(農林水産大臣公示有)。